

郵便はがき



〒四二六〇〇二五  
藤枝市藤枝四二一七  
大慶寺 大場正昭  
Tel 〇五四六四一〇二二九  
Fax 〇五四六四一六二二六

「藤枝おんぱく」藤枝市主催で開催中  
「藤枝のステキに出会う、春の旅」と題し、今年も「藤枝おんぱく」(4月23日～6月5日)を開催しています。大慶寺、蓮久寺でもこれに積極的に関わり、お寺や地域の魅力を発信しています。関わるプログラムは、◆寺とヨガと珈琲◆東海道音楽祭◆おかげさん◆坊主バー◆天下一闘茶会◆お茶うけカフェ×マルシェ◆ホタルとジビエ料理◆わんぱくトレッキング。詳細はネット、フェイスブックで。

アシスト募金協力者(順不同・敬称略)  
大塚善弘 増井忠 土屋恵司 富山友一  
郎 神保昌志 杉原有 栗田文子 関根  
薫 西村幸三 竹内小弥太 松浦弘子  
河野孝之 高橋正樹 小野田滋 杉原繁  
司 梶田力 杉山恭子 杉山元一 杉原  
秀雄 小林忠男

藤枝市の天野鎖智枝様から法話箋のお葉書代を頂戴致しました。篤くお礼申し上げます。法話箋作りの資とさせて頂きます。

別世帯の子供、お孫様等にも法話箋をお届け致します。申込は寺まで。

「教えてくれる人がいる」という環境  
お寺というのは、つくづく有り難いと思っ  
た事がある。

子供が幼稚園に通う頃、寺で大騒ぎして  
るので近くの「たこちゅう公園」に連れて行  
った。公園に着くやいなや、子供3人は元気  
よくブランコ、滑り台に向かって  
走り出した。

しかし、よく見ると、次男坊の  
崇且（たかあき）だけ、遊び道具  
がない方向に走っていく。どうす  
るつもり？と思いつながら見ている  
と、大きな石碑の前で立ち止まっ  
た。今度は何をする気だ？と見て  
いると、手を合わせ、何回もお辞  
儀をしている。その内に納得した  
のか、走って帰ってきて遊びだし  
た。公園からの帰り際、次男坊に  
何をしに行ったのかと尋ねると、「お寺に來  
る人は、みんな石の前で手を合わせて拝んで  
いる。公園に石があったので拝んできた」と  
言った。

一瞬意味が分からなかったが、お寺にある  
石とは、お墓のことであった。お墓の前で手



を合わせ、拜んでいる姿を普段からよく  
見ているので、石を見たら手を合わせる  
ということが、自然と身についたよう  
である。こちらが「はい、手を合わせな  
さい、はい、拝みなさい」と言ったわけ  
はない。寺に來る多くの人が手本となり、  
次男坊は合掌を覚えたのである。

教えなくても、多くの人から教  
えられる環境。有り難いこと  
である。

合掌することだけではない。  
生活の中で、これは最も大切だ、  
これだけは曲げられないといっ  
た事が子供に伝えられ、共有さ  
れているかと考えた時、案外伝  
わっていないものだ。

挨拶、躰、思いやり、親切心、  
忍耐、助け合い、家庭の味、家  
族の決まり事、家族の文化等々かなか  
伝わらない。

どうしたら伝わるか？それは言葉で発  
するより行動で繰り返し示すこと。要は  
難しいことを考えるより動き継続するこ  
とが大切だ。